

須坂★暮らしサポート情報

『地方暮らしに車は必需品！？』

東京などで開催している移住相談会で必ずと言っていいほど車に関する話が出ます。須坂市で生活する場合も「車はあった方が便利ですね」と伝えていきます。田舎暮らしで車が「ある」と「ない」とでは生活スタイルも大きく変わってきます。都会で暮らす皆さんが地方での暮らしをイメージできるように、田舎での車の生活あれこれをご紹介します。



●一家に一台より一人一台の生活環境

須坂市の車の所有状況は、一世帯あたり約 1.67 台という統計調査からも分かるように、一家には一台から二台、夫婦であればそれぞれが一台ずつ所有している世帯が多いです。町の中を見渡しても車で移動する人の方が多く、徒歩や自転車の人を見かけることの方が少ないです。それでも通勤などで集中する時間帯も渋滞というものはありません。ほとんどの時間帯がスムーズに動けるので運転しやすく、高齢者も移動手段で利用する方は多いです。

	世帯	人口	面積	乗用車保有台数 (台)	世帯あたりの台数 (台/世帯)
長野県	861,074	2,126,064	13561.56	1,367,570	1.588
長野市	159,520	382,001	834.81	234,110	1.468
松本市	103,718	241,272	978.47	153,503	1.480
上田市	66,788	159,271	552.04	104,877	1.570
岡谷市	20,880	50,853	85.1	33,113	1.586
飯田市	39,757	103,507	658.66	65,775	1.654
諏訪市	21,559	50,428	109.17	33,852	1.570
須坂市	19,613	51,368	149.67	32,695	1.667
小諸市	18,559	42,954	98.55	29,374	1.583
伊那市	27,204	69,059	667.93	46,259	1.700
駒ヶ根市	12,895	33,207	165.86	22,079	1.712
中野市	16,909	45,361	112.18	28,239	1.670
大町市	11,859	28,476	565.15	18,542	1.564
飯山市	8,048	21,847	202.43	13,151	1.634
茅野市	23,300	56,101	266.59	37,518	1.610
塩尻市	26,899	67,534	289.98	44,043	1.637
佐久市	40,816	99,497	423.51	66,197	1.622
千曲市	23,567	61,356	119.79	39,747	1.687
東御市	11,838	30,586	112.37	20,685	1.747
安曇野市	38,859	98,099	331.78	63,470	1.633

出典

※1(世帯・人口)住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査、平成29年1月1日現在

※2(面積)国土交通省 国土地理院、平成28年10月1日時点

※3(自動車保有台数)一般財団法人 自動車検査登録情報協会、平成29年3月末現在

●車があると便利な点

昨年、東京から須坂市に移住したKさんご夫婦は、引っ越して直ぐに軽自動車を購入しました。通勤でご主人が使用し、休日は買い物に大活躍していると話してくれました。「車があるとたくさんの荷物が一度で運べるので便利です。自然と買い物の量も増えます。今までビールの箱買いなんてしたことがありませんでしたからね。飲む量が増えて困ります」と笑って話してくれました。

この他にも、ご主人が仕事から帰宅した後、車で温泉に出かけることもあるそうです。須坂市内や近隣地域には車で10~20分ほどの場所に日帰り入浴可能な温泉がたくさんあります。「車があればサクッと温泉に行けるのでうれしいです。週に一度は必ず行っています」

住居アパートや温泉、スーパーは必ずと言っていいほど駐車場代が掛からないので、家から目的地までドア to ドアで気軽に移動が可能です。都会で車を持つと数万円にもなる駐車場代の負担が大きいと言います。このようなことも田舎と都会での大きな違いの一つですね。

●自家用車を有効活用できる田舎暮らし

逆に都会の人から見れば、地方の電車やバスなどの交通機関は本数が少なく不便に感じるかもしれません。例えば長野駅から須坂駅を結ぶ長野電鉄は1時間に3~4本です。田舎で暮らす人は前もって時刻表で調べて行動するのが習慣です。乗り過ごした次は20分、30分先・・・なんてこともあります。

昨年東京から移住したKさんご夫婦は、須坂市で電車を利用する際は時刻表を見てから乗るようになったと都会と田舎暮らしの違いを話してくれました。自家用車なら自分のペースで目的地へ向かうことができます。車の生活で便利な点は、いつでも気軽に行動できることかもしれません。



●車は自動車税や維持費がかかります

車を持つとガソリンや自動車税などの経費をはじめ維持費がかかります。地方では冬用のスタッドレスタイヤの購入が必要になり、12月初冬に普通タイヤから履き替え、4月半ば過ぎに普通タイヤに戻します。車を購入すると、それに付随してかかる費用が多いのも事実です。

●運転免許がない方もパーパードライバーの方も心配無用です

地方に移住を検討している方で運転免許をお持ちでない方は、ぜひ取得されることをおすすめします。免許の無い方、パーパードライバーで自信が無いという方もご心配なく！須坂市には自動車学校が2ヶ所あって、通常の免許取得コースの他、希望により1時間約5,000~6,000円でパーパードライバー教習も受けられます。須坂市に移住して一年になる奥さまは、最近免許を取得したことを報告してくれました。「



バイトをしながらでしたし夏休みの学生がたくさん通う時期で予約も取りにくかったのですが、通ったのは1ヶ月くらいでした。今は車でバイトに行っています。雪が降るまでには運転に慣れておきたいです」早速、生活に役立っていることを話してくれました。

車には保険や税金、スタッドレスタイヤの購入など様々な費用がかかります。
それでも田舎で暮らす人たちは、車の費用の確保を優先的に考えるのが通常です。
それは車が生活の一部だからです。

いかに田舎暮らしには車が必要であるかお分かりいただけましたか？
通勤はもちろん、休日のお出かけには必ず自家用車が大活躍します。
移住後は都会では味わえなかった美しい自然の景色を楽しみながら充実したカーライフをお過ごしください。



(須坂市移住・定住アドバイザー 豊田貴子)